

《 Aの部大会 》

第36回 南区会長杯争奪選手権大会 第30回 下京・南支部理事長旗争奪大会 第36回 城南少年野球親睦旗争奪大会 特別規則と注意事項

南区少年野球振興会

1. 選手登録はありません。当日のメンバー表により代用する。
2. ベンチには、当日のメンバー表に記載された選手(20名)・代表者・監督・コーチ・スコアラーの計25名以内しか入ることは出来ない。
ベンチは抽選番号の若い方を一塁側とする。
3. 監督・コーチは選手と同一意匠のユニホームの着用を義務づける。
《監督は30・コーチは29・30の背番号をつけていること。》
4. **試合球はJ号球とする。**試合時間は、1時間20分とし以降新しいイニングには入らない。《 但し決勝戦は1時間30分 》
5. 本大会の試合回数は7回とし、勝敗が決しない場合は特別ルールにて1イニングのみ行い、特別ルールでも勝敗が決しない場合は、抽選にて勝敗を決める。《 ただし、決勝戦は特別ルールにて勝敗が決するまで行う。 》
【 特別ルールは、ワンアウト満塁で、1番バッターからという同一条件にて行う。】
6. 4回10点、5回7点差がある場合コールドゲームを採用する。《 但し決勝戦は除く 》
7. **投手の投球数は、70球を上限とする。但し上限到達時の打者までの投球は認める。**
8. 野手がボールデッドライン付近のフライを捕球後にボールデッドゾーン内に入った場合は、ファウルボールとする。
8. 手袋の使用は、打者および投手以外の野手については、これを認める。
10. 投手交代時の投球練習中のダッグアウトを出ての素振りは、次打者にのみこれを認める。
11. 試合開始時間前でも、前の試合が早く終了した場合は直ちに次の試合を開始する。
(コロナ感染症対策として本項は適用除外とします。)
12. 試合開始時間になっても球場にこないチームは棄権とする。
13. 日程の都合上、小雨の場合でも球場使用が可能な状態であれば強行する。
14. 暗雲降雨により試合を中断・中止した場合、5回を終了していれば試合成立として終了する。
但し、それ以外の場合は、**中断時点からの継続試合**として後日改めて行う。
15. タイムはプレーヤーが要求した時ではなく、審判員が認めた時である。
16. 抗議できる者は、監督、主将か当該プレーヤーのみとする。《 但し、ルールの適用に誤りがあった時のみ 》
17. 球審は、当振興会審判員にて行い、塁審のみ各チームより出す。
《 準決勝戦・決勝戦は球審・塁審とも当振興会審判員にて対応する。 》
18. 審判の服装は、上は白色の長袖シャツ、下は、紺または黒色の長ズボンを着用し、靴は黒色の物を履くこと。
《 担当試合の30分前には、集合すること 》
19. どんな方法であろうと、相手チームの選手や審判員に対して悪口・暴言は禁ずる。
20. 選手並びに応援団の行動については当該チームが一切その責任を負うこと。
21. 本大会では、不慮の事故及び障害等の責任は一切負いません。
22. 雷鳴が発生した場合は、球審の指示により直ちに試合を中止し『太陽の家』の建物へ避難する。
23. その他競技規則は、2023年公認野球規則及び全日本軟式野球の内規を適用する。